

授業科目(ナンバリング)	臨床栄養管理学 I (IB260) (実践的教育科目)			担当教員	山口 留美 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
臨床栄養管理学 I においては、栄養ケア・マネジメントを実施するための基礎知識を習得し理解を深めることを目的とする。そのためにアクティブ・ラーニングを取り入れ、手技・手法を学び、チーム医療における管理栄養士の役割を理解するとともに、他の医療スタッフの役割についても理解を深める。							②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	医療や福祉における傷病者の栄養管理に必要な基礎的知識や技術に関して考えを述べる事ができる。				・定期試験 ・課題レポート	30% 5%	
情報収集、分析力	栄養ケア・マネジメントの定義と構造を理解し、傷病者個人に必要な各種データを抽出し活用することができる。				・定期試験	30%	
コミュニケーション力	医療や福祉における傷病者の栄養管理に必要な基礎的知識や技術に関して考えを述べる事ができる。				・授業態度・授業への参加度	5%	
協働・課題解決力	臨床栄養管理における栄養ケア・マネジメントシステムと具体的実践方法を関係づけ自らの考えを述べる事ができる。				・課題レポート	5%	
多様性理解力	様々なライフステージや環境に応じ、柔軟に栄養管理や食事療法の考え方を持つことができる。				・定期試験 ・授業態度・授業への参加度	10% 15%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験の成績を 70% として筆記試験を実施する。課題レポートの評価は 10% とし、管理栄養士としての必要知識を学ぶ。また、課題のフィードバックは 15 回目までの授業で行う。</li> <li>・定期試験は栄養ケア・マネジメントを正しく理解し理論的に説明ができるかを評価する。</li> <li>・課題レポートに関しては根拠を示し理論的に記載しているかを評価する。</li> <li>・授業態度・授業への参加は 20% として評価し、授業における討論への参加度合いなどを評価する。</li> </ul>							
授業の概要							
臨床栄養学テキストを使用し講義形式で授業を行う。また実際の臨床現場における実務経験をもとに、具体的例を挙げ栄養ケア・マネジメントとは何か、管理栄養士に必要なこと、チーム医療の中で求められていることは何かなどを考え理解出来るよう授業を行う。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：健康・栄養科学シリーズ 臨床栄養学 (改訂第 3 版) 中村丁次 他編集 (南江堂) 参考書：すぐ使える栄養管理事例 50 疾病別栄養管理計画書のつくりかた 高崎美幸 日本医療企画 指定図書：健康・栄養科学シリーズ 臨床栄養学 (改訂第 3 版) 中村丁次 他編集 (南江堂)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
講義には積極的に参加して学修すること。また、教科書の次回の授業内容を予習して指定した教科書を事前に読みノートにまとめておくこと。学修した内容を復習すること。授業中での私語、携帯電話、メール等の不必要な使用は厳禁である。また出席を毎回確認するため、体調不良で欠席しないよう日頃から健康管理を行なうようにすること。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	臨床栄養学の基礎	臨床栄養学の意義と目的 (疾患と栄養・医療と介護制度の基本・医療と臨床栄養・福祉と介護と臨床栄養)	臨床栄養学の意義と目的を予習し、医療と臨床栄養を復習する。
2	チーム医療	チーム医療 (各種チーム医療の実際・管理栄養士の役割・栄養サポートチーム・褥瘡対策チーム・多職種連携)	栄養ケア・マネジメントの定義を予習し、チーム医療について復習する。
3	栄養ケア・マネジメント	栄養ケア・マネジメント (栄養ケア・マネジメントの定義・栄養ケア・マネジメントの構造、診療報酬・介護保険制度・栄養情報提供書・クリニカルパス)	栄養アセスメントを予習し、栄養ケア・マネジメントについて復習する。
4	傷病者の栄養アセスメント(1)	傷病者の栄養アセスメントの意義と目的 (臨床診査・臨床検査)	栄養必要量算定について予習し、栄養アセスメントの意義を復習する。
5	傷病者の栄養アセスメント(2)	傷病者の栄養アセスメント (身体計測・食事調査・栄養必要量の算定)	栄養ケア計画と実施について予習し、栄養必要量算定について復習する。
6	栄養ケア計画と実施	栄養ケア計画作成と実施方法について	経口栄養補給法について予習し、栄養ケア計画と実施について復習する。
7	栄養・食事療法、栄養補給の方法(1)	食事療法栄養補給の方法 (経口栄養補給法)	経腸・静脈栄養補給について予習し、経口栄養補給法について復習する。
8	栄養・食事療法、栄養補給の方法(2)	食事療法栄養補給の方法 (経腸栄養補給法・静脈栄養補給法)	傷病者の栄養教育について予習し、経腸・静脈栄養補給について復習する。
9	傷病者の栄養教育	栄養教育の意義と教育技術について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題レポート</span>	モニタリングと評価について予習し、傷病者の栄養教育について復習する。
10	モニタリングと評価	モニタリングとアウトカム・マネジメントについて	栄養ケアの記録について予習し、モニタリングと評価について復習する。
11	栄養ケアの記録	POSとPOMRの作成について	栄養管理プロセスについて予習し、栄養ケアの記録について復習する。
12	栄養管理プロセス(1)	栄養管理プロセスの実践について	PESについて予習し、栄養管理プロセスについて復習する。
13	栄養管理プロセス(2)	PESに基づいた栄養介入計画の立案	栄養と薬、食物の相互関係について予習し、PESについて復習する。
14	薬と栄養、食物の相互関係・	栄養と薬、食物の相互関係 (薬により起こる栄養および代謝異常) について	栄養障害について予習し、栄養と薬、食物の相互関係について復習する。
15	栄養障害	栄養障害について	栄養障害について復習し全体のまとめを行う。
16	定期試験		